

まちづくり基本条例検討委員会 第3回会議次第

日時：平成18年11月11日（土）

午前9時30分

場所：大里行政センター第2会議室

1 開会

2 あいさつ

3 まちづくり基本条例骨格の検討
・ 条例に盛り込むポイントの検討

4 諸連絡

（1）次回会議について

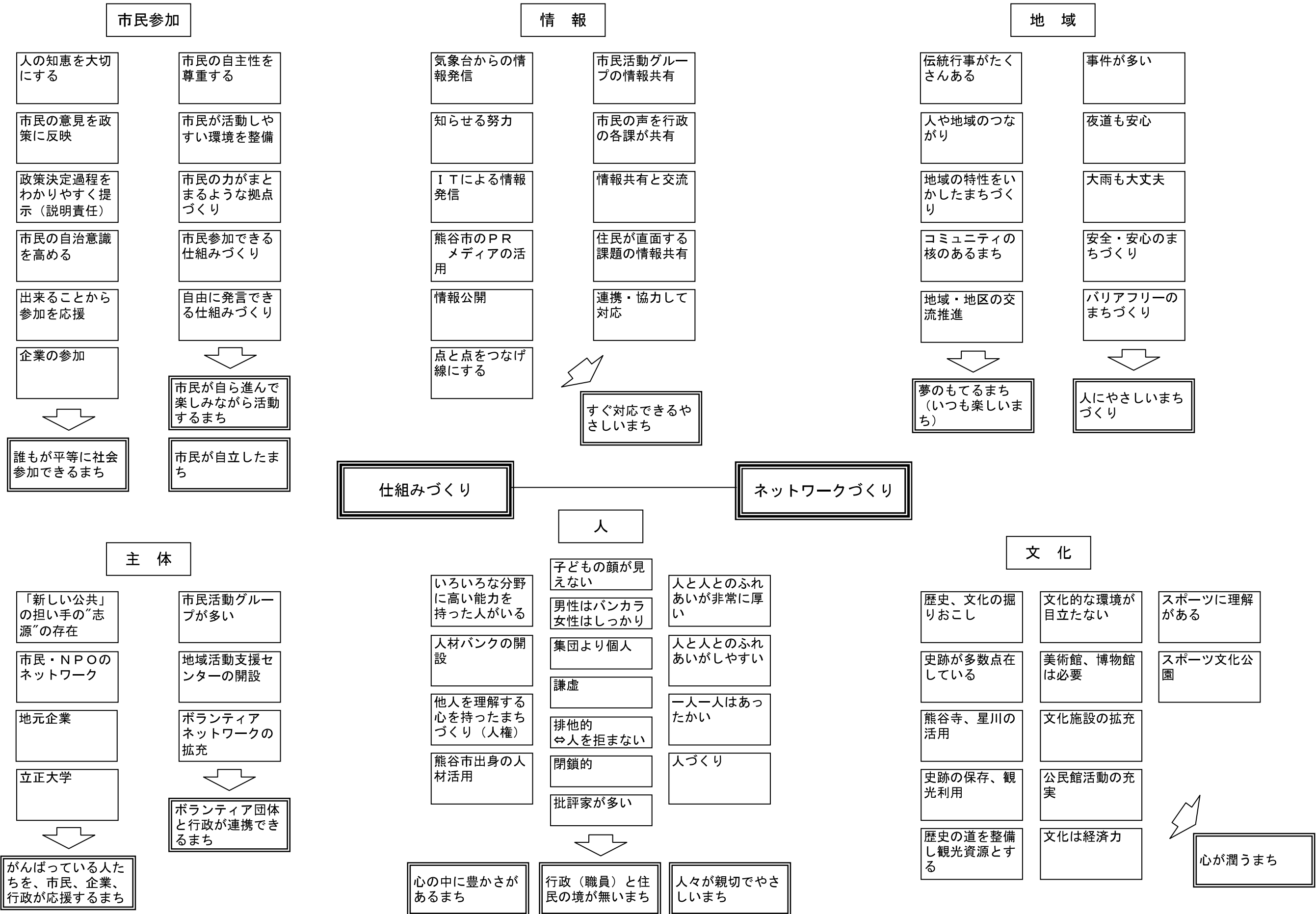
日時 11月25日（土） 午前9時から

場所 熊谷市役所302会議室

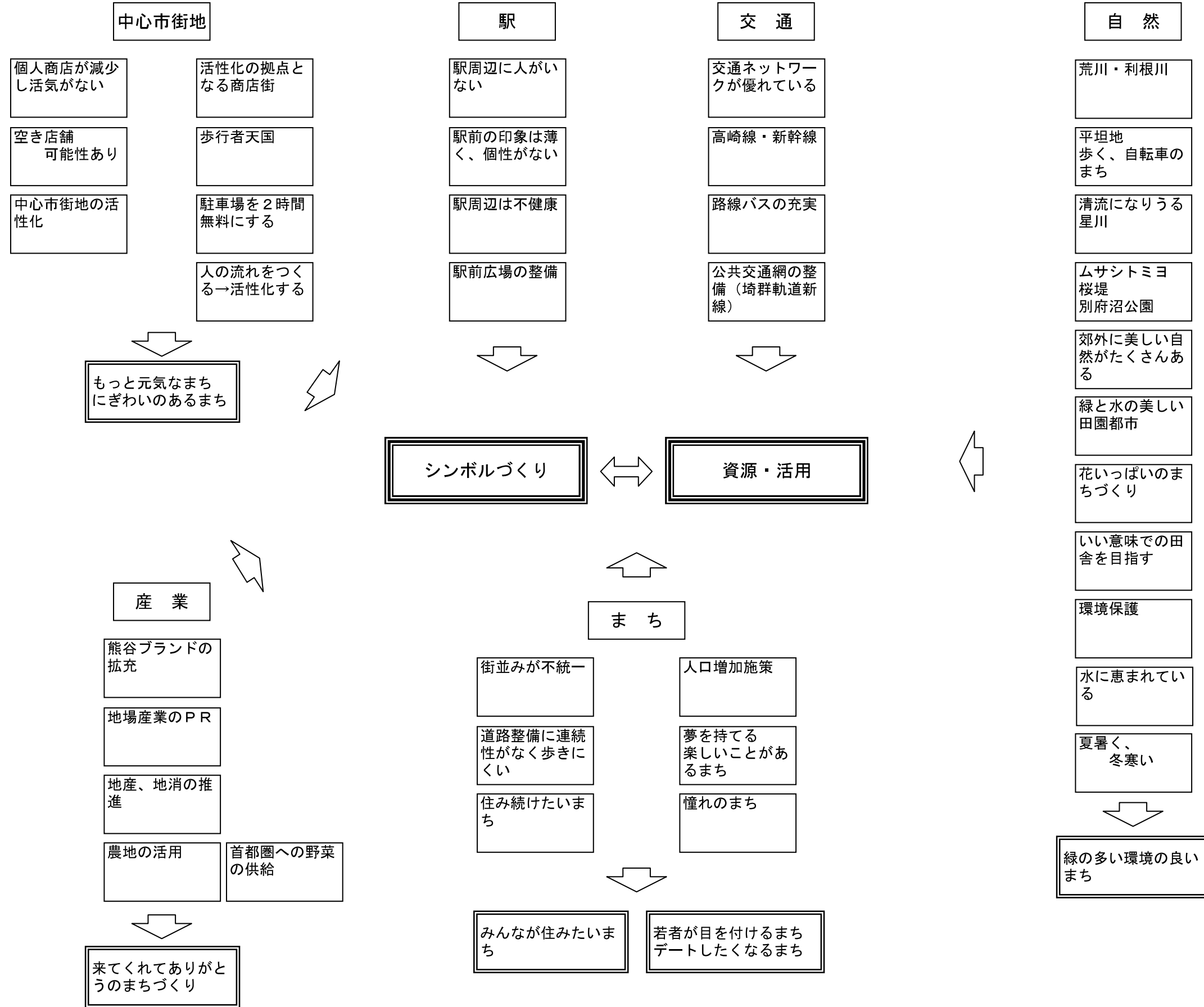
（土曜開庁のため、正面玄関から入れます。）

5 閉会

まちづくりの方向性の検討



まちづくりの方向性の検討



伸ばしたい

対応

文化施設

観光館 資料館
博物館 企業
ルート案内

伸びる点

史料保存 観光客誘致

伸びる点

中心市街地活性化

駅前広場の整備

Y字歩道
北口...歩道
南口...駐車場併合

地域特色が活きる

農・工・商
観光の核

歴史・文化の

土居りあこし
(年月が経てば大い)

平たん 自転車道 歩道等を歩ける

市民の声(要望)を
全面的に採り(共有)して
対応(し)する。↑
随時・迅速に。

③ 町内各所の歩道
歩道の整備

地産地消

行政の苦手分野の解決
のため、民間等に委託
運搬・備前相手をする

④ 平たん・町内
農産物・畜産物の活用
民間の施設等と連携
を図る

市民の持つ力の 結集

mpoや視の提案を受けて
町と民間が協力し
行政
事業化していく制度

⑤ 観光地
史料館の活用
歴史・文化の活用
民間の施設等と連携
を図る

伸びる点

バリアフリーへの対応

伸びる点

大雨・持込
池の水位管理

災害のない
安心・安全
なまち

田園都市の イメージ

豊かな
水と緑のまち

水景観
親水公園
星川の改良

地産地消を多くの市民に
知ってもらう仕組みを作る

街路樹を増やして
歩道等を歩ける

伸びる点

鹿を安心して歩ける町

安心・安全のまち
ハートのまち

豊かな
水と緑のまち

水景観
親水公園
星川の改良

市民・企業・団体
が協力して(共同)に
課題解決に取り組む
(協賛)

条例・条例以外
で管理

伸びる点

路線バス・音

地域・地区の交流推進
交流拠点の整備
観光・文化・交流活動
の拠点となる

他人と理解しあえる
心
人権

700農家
首領への
供給

遊休農地
市民農園
観光・文化・交流活動

公共交通網
(た田〜東松山)

平日交通の不便
観光客の
不便の解消

優れている

新しい公共の担い手として
成長や期待される 志源
の存在。
市民-NPO等が 地域企業 主体
(JOC) (協賛)

平川地区にある
X1111

伝統行事の
[=マシ]あり

色々の合即は
高能力と持た
人あり

自然の環境
あり

高橋線
新幹線

市民活動グループ
あり

優れている点

入居者の理解あり

入居者文化公園

田舎地が
あり
(減税のメリット)

子育てに便利
空き店舗
活用できる可能性
あり

レサシミヨ

桜堤

別府沼公園

◎ 能及学校自給産物
市町村と連携して
この産物を生かして人々の
暮らしを豊かにする
あり

目指す

「まち」の元を
社・Npo・企業・大学・大町し。
活かし「まち」環境を整備
・更には「まち」の魅力を高める!

まち
人にやさしいまち

花...のまち

誰れでも解らぬまち
町づくりを目指す

市民参加できる仕組み

市内・軽車両・
最初の2週間無料
公営、私営と合わせて
「般各市にまでくみこむ」

夢を持つまち

↓
いつか楽しいまち
あつま

- ① 豊平市
- ② 南支那
- ③ 工業都市
- ④ 学園都市
- ⑤ 文化都市
- ⑥ 観光都市

人々の暮らし
やさい
自然と水の美しい(田園)
都市

身近な自然を
大切にするとは
最大の福祉

公民館活動の充実

能るに基き人か
能るにほみ続け
たいまち

施設利用の利便性

地元史跡 等を、みんな
に見せる(60リヤク) 作る
工夫をする。

市内市外へ
のびる事業運営